

令和3年度9月 第4回 地域連携部門研修会 報告

日時：令和3年9月30日（木） 19：00～19：45

場所：ZOOMにて

出席者：院内薬剤師 16名、院外薬剤師 12名

第4回地域連携研修会は、「タービュヘイラー・エアロスフィア製剤の吸入指導」をテーマに開催致しました。吸入療法の必要性、タービュヘイラー・エアロスフィア製剤の特徴、症例検討、調剤薬局における症例事例集について院外薬剤師の先生方とのディスカッションも交えながら当院薬剤科吉良先生よりご講演頂きました。

1、吸入療法の必要性



当院は2015年薬業連携を発足し、服薬情報提供書を導入、さらに翌年からは吸入連携も開始しております。2020年診療報酬改定においては吸入薬指導加算が可能となりました。当院の服薬情報提供書もリニューアルを加え、HPへ掲載しておりますので院外薬局薬剤師の先生方が患者様へ吸入指導を行なった際には是非ご活用下さい。

2、タービュヘイラー・エアロスフィア製剤

タービュヘイラー製剤(シムビコートやパルミコート)はデバイスの使用方法が「クルッ、カチッ、スー」の3STEPとなっています。デバイスを垂直にして操作する等に注意しながら構造を理解し、薬剤師が患者様の吸入手技を正確に判断・評価することが重要です。またシムビコートはSMART療法によるコントローラーかつリリーバーとしての役割を果たすことが可能な点も患者様へ理解して頂くことによってアドヒアランスの向上に繋がります。

エアロスフィア製剤(ビベスピやビレーズトリ)は効率的に肺の末端まで届くよう構成成分や表面構造が工夫されているエビデンスのある薬剤です。吸入前の空噴霧や息を吸いながらボタンを押す等吸入操作のコツを要する部分もあり、私たち薬剤師の吸入指導が重要となります。



3、症例検討 (デモンストレーションとディスカッション)

コントローラーはシムビコートタービュヘイラー、リリーバーとしてメプチンエアークットを使用している患者と薬剤師によるロールプレイを行ない、問題点としては下記のような意見が挙がりました。

- ①自己判断で減薬のためコンプライアンス不良 ②喘息発作発現あり。よく効くからとメプチンを多用
 ③DPI 製剤によるむせこみあり ④シムビコートの操作が難しいと感じている
 ⑤デバイスを垂直にできていない

問題点についてディスカッションし、それぞれ薬剤師の先生方より以下のように対応やご意見を頂きました。



薬局薬剤師
H 先生

①シムビコートの再発予防は1日2回の吸入。ステロイドは炎症抑制作用があり、症状を悪化させないために継続するように説明する。実際にこういった患者さんが多くいらっしゃる。



薬局薬剤師
O 先生

②SMART 療法の活用。メプチンに依存しすぎである状態が気になる。



薬局薬剤師
F 先生

③パウダー製剤のため、うがいで口をしめらせることでむせ込みを減らすよう指導。
 ④④操作が簡便、1日1回の吸入薬に変更を提案しコンプライアンス向上を狙う。
 ①患者さんとコミュニケーションを取り、どの程度吸入する気があるのか探る。



病院薬剤師
K 先生

②メプチンのみ吸入という点から、コントローラーとの使い分けができていないか？
 ④⑤デバイスの変更がよいかもしれない。
 ⑤慣れた患者だと、特に垂直にせず操作してしまう傾向にある。

4、調剤薬局での症例事例集

事前に院外薬局薬剤師の先生方へアンケートにご協力頂き、吸入薬のピットホール、タービュヘイラー製剤に関する変更や検討のあった症例のご回答を頂きました。

薬局薬剤師より報告されたピットホール

- ・残量の赤線が最後まで来ないことから、シムビコートの残数がないことに気が付けず使い続けていた。
- ・シムビコートの薬剤量が少なくなるとコンプライアンスが低下してしまう。
- ・充填時に、傾けていた。
- ・実際に目の前で吸入してもらったところ、吸入力が不足していると感じる。
- ・1回2吸入の場合、一度に2回クルッ、カチッと操作して吸入を実施していた。
- ・目の悪い患者さんが振るとカラカラと音がするため「O」になっても吸っていた。
- ・左右の回転が分からなくなり、動かないと相談された。

タービュヘイラーに関する変更・検討症例

- ・長期管理、発作時治療薬の2剤を管理・携帯することを面倒と感じる方へ、シムビコートの SMART 療法を検討。
- ・吸入力が不足しているため pMDI 製剤への変更を提案。
- ・嘔声の症状が出現したため、エアソール製剤に変更を検討。

5、本日のまとめ

- ・積極的な処方提案を→各製剤のメリット、デメリット把握して提案！
- ・コンプライアンス不良患者を減らすために問題点(ピットホール)の表在化を行う！
- ・困ったら当院へ電話を→悩むことあれば地域連携のメンバーまで！